



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 佐藤商事株式会社

コード番号 8065 URL <http://www.satoshoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 田浦 義明

TEL 03-5218-5312

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	76,285	4.0	1,050	8.3	1,064	18.6	499	33.2
23年3月期第2四半期	73,329	31.7	970	—	897	—	375	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 50百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △40百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.93	—
23年3月期第2四半期	17.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	89,908		24,767		27.4
23年3月期	86,518		24,934		28.6

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 24,603百万円 23年3月期 24,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	10.00	17.50
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00 ～12.50	17.50 ～20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の配当金予想につきましては、現時点では上記の範囲内にて予定しております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	2.7	2,300	1.1	2,400	1.8	1,400	△4.0	64.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,790,350 株	23年3月期	21,790,350 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,883 株	23年3月期	3,747 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	21,786,553 株	23年3月期2Q	21,786,880 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当期の配当予想につきましては、現時点においても引続き不透明な経営環境であることを鑑み、上記の予想に変更はございません。なお、今後の経済情勢・需要動向に注意しつつ、具体的な配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断も予想を上回るスピードで回復を見せ、夏場の電力不足も節電対策により乗り越え、緩やかな回復基調となりました。しかし、米
国経済の成長鈍化や欧州の金融危機などによる円高の進行、世界的な株安など経済の先行き懸念材料が顕在化して
きております。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主要取引業界である商用車業界や建設機械業界の
アジア新興国向け輸出が好調に推移し、また国内生産も早期に回復してきたことにより、売上高は762億8千5百万
円（前年同期比4.0%増）、営業利益は10億5千万円（前年同期比8.3%増）、経常利益は10億6千4百万円（前年同
期比18.6%増）、四半期純利益は4億9千9百万円（前年同期比33.2%増）の計上となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①鉄鋼事業

鉄鋼事業においては、東日本大震災による一時的な減産による影響があったものの、主力の商用車業界及び建設
機械業界のアジア新興国向け販売が堅調であり、国内においても大型商用車や建設機械向けの販売増により、売上
高は541億4千5百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

②非鉄金属事業

非鉄金属事業においては、鉄鋼事業と同様に商用車業界の販売が堅調だったことにより、売上高は98億2千万円
（前年同期比23.6%増）となりました。

③電子材料事業

電子材料事業においては、主力の車載機器向けプリント配線基板用積層板については回復傾向がみられたもの
の、デジタル家電向けやゲーム機向けプリント配線基板用積層板の海外移管が進行したことにより、売上高は71億
2百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

④ライフ営業事業

ライフ営業事業においては、直営店を平成23年4月北海道千歳市と埼玉県越谷市、平成23年6月宮城県仙台市に
オープンさせ、既存商品に加え耐熱陶器やシリコン製品等の新商材も導入し順調に推移しておりますが、既存取引
先への販売が伸び悩み、売上高は33億9千8百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

⑤機械・工具事業

機械・工具事業においては、アジア新興国向けの需要増による設備投資の回復基調と国内生産の早期回復から、
売上高は18億1千8百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて33億8千9百万円増加し899億8百
万円となりました。その要因の主なもの、流動資産において、受取手形及び売掛金が増加したこと等により44億
3千7百万円増加したこと、固定資産において、投資有価証券が減少したこと等により10億4千8百万円減少したこと
であります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて35億5千7百万円増加し651億4千
1百万円となりました。その要因の主なもの、流動負債において、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加した
こと等により34億6千1百万円増加したこと、固定負債において、繰延税金負債が減少しましたが長期借入金が増加
したこと等により9千6百万円増加したことあります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億6千7百万円減少し247億6
千7百万円となりました。その要因の主なもの、利益剰余金が2億8千1百万円増加したこと、その他の包括利益累
計額において、その他有価証券評価差額金が4億円減少したこと等によるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が10億6千1百万円となりましたが、売上債権の増加額38億3千4百万円、たな卸資産の
増加額12億8千5百万円、仕入債務の増加額13億4百万円等により、26億4千2百万円の支出（前年同四半期連結累計
期間は2億3千3百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1億7百万円、貸付けによる支出9千8百万円、投資有価証券の取得による支出5千2
百万円等により、3億1千1百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は1億4千4百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増額27億2千8百万円、社債の償還による支出1億円及び配当金の支払額2億1千6百万円等により、25億3千1百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は1億5千6百万円の支出）となりました。

これらの結果から当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ4億3千5百万円減少し、17億4千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は主要取引業界である商用車業界や建設機械業界が好調に推移したこと等により順調に推移しました。

しかし今後のわが国をとりまく環境は、東日本大震災の復興需要が見込まれるものの円高による企業収益の圧迫、米国経済の成長鈍化や欧州の金融不安に加え中国経済の減速、更にはタイの大洪水による世界生産への影響など先行きの不透明感は増すばかりです。

このような状況下におきまして平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月18日の決算短信で公表いたしました予想数値に変更はございません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によってこれら予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,628	3,192
受取手形及び売掛金	43,491	47,229
商品及び製品	16,027	17,255
繰延税金資産	383	357
その他	685	557
貸倒引当金	△172	△110
流動資産合計	64,044	68,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,088	4,871
土地	5,944	5,943
その他(純額)	1,847	1,668
有形固定資産合計	12,880	12,483
無形固定資産	114	105
投資その他の資産		
投資有価証券	8,520	7,823
その他	2,086	2,294
貸倒引当金	△1,127	△1,263
投資損失引当金	—	△18
投資その他の資産合計	9,479	8,836
固定資産合計	22,473	21,425
資産合計	86,518	89,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,415	34,651
短期借入金	18,180	20,458
未払法人税等	688	518
賞与引当金	554	575
その他	1,206	1,300
流動負債合計	54,044	57,505
固定負債		
社債	900	800
長期借入金	3,447	3,978
繰延税金負債	1,775	1,490
退職給付引当金	457	426
役員退職慰労引当金	197	197
その他	761	742
固定負債合計	7,539	7,635
負債合計	61,583	65,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319	1,319
資本剰余金	880	880
利益剰余金	20,404	20,686
自己株式	△1	△2
株主資本合計	22,602	22,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,291	1,890
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	△117	△167
その他の包括利益累計額合計	2,172	1,719
少数株主持分	160	163
純資産合計	24,934	24,767
負債純資産合計	86,518	89,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	73,329	76,285
売上原価	68,005	70,702
売上総利益	5,324	5,582
販売費及び一般管理費	4,354	4,532
営業利益	970	1,050
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	61	91
受取賃貸料	75	75
仕入割引	64	57
その他	102	85
営業外収益合計	310	311
営業外費用		
支払利息	139	129
手形売却損	3	3
売上債権売却損	26	29
賃貸費用	43	39
持分法による投資損失	90	61
その他	80	34
営業外費用合計	383	296
経常利益	897	1,064
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	1	12
補助金収入	1	—
特別利益合計	4	15
特別損失		
固定資産除売却損	8	0
投資有価証券評価損	72	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
投資損失引当金繰入額	—	18
特別損失合計	93	18
税金等調整前四半期純利益	808	1,061
法人税、住民税及び事業税	541	534
法人税等調整額	△109	24
法人税等合計	432	558
少数株主損益調整前四半期純利益	376	503
少数株主利益	1	3
四半期純利益	375	499

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	376	503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△368	△398
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	△46	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△416	△453
四半期包括利益	△40	50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41	46
少数株主に係る四半期包括利益	1	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	808	1,061
減価償却費	550	525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	91	73
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	18	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△74	△30
受取利息及び受取配当金	△68	△92
支払利息	139	129
持分法による投資損益 (△は益)	90	61
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△12
投資有価証券評価損益 (△は益)	72	—
固定資産除売却損益 (△は益)	6	△2
補助金収入	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,539	△3,834
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,921	△1,285
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,993	1,304
その他	△78	187
小計	87	△1,914
利息及び配当金の受取額	69	103
補助金の受取額	1	—
利息の支払額	△140	△128
法人税等の支払額	△251	△702
営業活動によるキャッシュ・フロー	△233	△2,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△617	△107
有形固定資産の売却による収入	2	6
無形固定資産の取得による支出	△9	△3
投資有価証券の取得による支出	△23	△52
投資有価証券の売却による収入	746	13
貸付けによる支出	△180	△98
子会社株式の取得による支出	△57	—
その他	△6	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	671	2,728
長期借入れによる収入	—	1,200
長期借入金の返済による支出	△555	△1,069
社債の償還による支出	△100	△100
配当金の支払額	△162	△216
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	2,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△541	△435
現金及び現金同等物の期首残高	2,726	2,180
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,218	1,744

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高						
外部顧客に対する売上高	51,243	7,943	8,401	4,147	1,594	73,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	51,243	7,943	8,401	4,147	1,594	73,329
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	764	60	143	42	△40	970

(注) セグメント損益は四半期連結損益計算書の営業損益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高						
外部顧客に対する売上高	54,145	9,820	7,102	3,398	1,818	76,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	54,145	9,820	7,102	3,398	1,818	76,285
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	870	77	115	4	△17	1,050

(注) セグメント損益は四半期連結損益計算書の営業損益と一致しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。